

管理番号	40
------	----

研究内容の説明文

献血者説明用課題名※ (括弧内は公募申請課題名)	血液製剤の安全性を確保するための病原体不活化法の研究とそれに使用するためのパルボウイルス B19 培養法の確立 (赤血球製剤及び血漿分画製剤における病原体不活化法の研究及びパルボウイルス B19 の培養法の確立)
研究開発期間 (西暦)	2023 年 4 月～2026 年 3 月
研究機関名	埼玉医科大学医学部
研究責任者職氏名	講師 小林 清子

※理解しやすく、平易な文言を使用した課題名

研究の説明

1 研究の目的・意義・予測される研究の成果等

パルボウイルス B19 は、伝染性紅斑（リンゴ病）の原因ウイルスです。このウイルスは培養ができないので、不活化法の評価のためには、試験に必要な感染力の高くそして十分な量のパルボウイルス B19 陽性血漿が必要です。それを確保することは容易ではなく、また、個々のウイルスの性質も同一とは限りません。そこで効率良くパルボウイルス B19 が増殖する培養法を確立し、評価に適したウイルスを容易に確保することを可能にして血液製剤の安全性確保に役立てたいと思います。

2 使用する献血血液の種類・情報の項目

献血血液の種類：血漿（規格外）

献血血液の情報：パルボウイルス抗原検査結果

3 共同研究機関及びその研究責任者氏名

《献血血液を使用する共同研究機関》

国立感染症研究所次世代生物学的製剤研究センター 野島 清子

《献血血液を使用しない共同研究機関》

なし

4 研究方法《献血血液の具体的な使用目的・使用方法含む》

献血血液のヒト遺伝子解析：■行いません。 □行います。

《研究方法》

複数のヒト由来の細胞（癌細胞）にパルボウイルス B19 抗原陽性血漿を添加して感染させます。一定期間培養し、その培養液を新しい細胞に添加して効率良くウイルスが継代できる細胞を選択します。最終的には、共同研究者に細胞と陽性血漿、及び細胞で増殖させたパルボウイルス B19 を提供し、色々な不活化の試験を実施します。

5 献血血液の使用への同意の撤回について

研究に使用される前で、個人の特定ができる状態であれば同意の撤回が出来ます。

6 上記 5 を受け付ける方法

「献血の同意説明書」の添付資料の記載にしたがって連絡をお願いします。

本研究に関する問い合わせ先		受付番号	R050038
所属	埼玉医科大学医学部		
担当者	岡田 義昭		
電話	049-276-1175		
Mail	Okada_44@saitama-med.ac.jp		